

宮城大学 後援会報

Vol.63

発行日
令和6年9月15日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL022(377)8381

編集
宮城大学後援会事務局

主催事業 MYUサポーターズデイ2024

大学への理解を深めることができた

有意義な時間

6月16日(日)に大和キャンパス、6月29日(土)に太白キャンパスにおいて開催された「MYUサポーターズデイ2024」は、天候にも恵まれ、両日合わせて会員約2000人の参加があり、今年度も大盛況となりました。開催に当たり、準備から当日の運営まで携わっていただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

大和キャンパスでの開催は、第1部開催の前に、案内役の学生から説明を受けながら大学構内を見学できるキャンパスツアーを開催しました。当日は、多くの皆様にご参加いただき、学生達の日頃の学び場である大学内の施設等を見学いただきました。

キャンパスツアー終了後、大講義室において開催した第1部全体企画の学長あいさつでは「宮城大学の今」〜宮城大学生の可能性」というレジュメに基づき「課題を発見し、課題の解決を探索し、それを社会に実践する人材、高度な汎用力を持った人材が必要」とのお話がありました。社会から求められる人材について学ぶことができる実践的な人材育成課程は、学生達の将来の糧になると改めて感じました。

第2部の学群企画では、看護学群と事業構想学群の各学群プログラムに基づき、学群長あいさつ、学生の就職動向、学生発表、看護学群では、「看護学群看護学類の4年間」と題して総合的な説明等が行われました。各学群からの説明などから、会員の皆様も学生達が大学で学んでいること、学ぼうとしていることを具体的に感じることができたと思います。学群企画終了後は、大学生協さんのご協力を

いただき、学群別に会員及び教員等との懇談・懇親の場を設けることができ、お互いにより身近なお話しができました。

今回も大学の教育環境や学生生活などを知り、有意義な時間を過ごすことができました。

また、本会会長のあいさつの中では、秋に開催する講演会のお話しもございましたので、是非そちらもお楽しみにしてください。皆様のご参加をお待ちしております。

(副会長 庄子佳宏)

天候に恵まれた6月29日(土)、「MYUサポーターズデイ2024太白キャンパス」へ参加致しました。第1部では大和キャンパスと同様に、後援会長及び学長のあいさつがありました。第2部は食産業学群企画として、生物生産学類とフードマネージメント学類の研究内容について学群長と学生より説明があり、どのような勉強を行っているのかを知ることができました。またキャリア開発室長からは、卒業生の進路と就職状況についての報告があり、今後の参考となりました。後半は班に分かれてのキャンパスツアーが行われ、大学内の各施設を見学することができました。最後は場所をカフェテリアに移し、会員・教職員・学生が各テーブルに集まり、美味しいお菓子と飲み物をいただきながらの歓談で盛り上がりしました。

今回参加したことで、会員・教職員・学生との理解を深める場になったと実感しました。

(理事 村山昌志)



キャンパスツアー 図書館



学類を説明する学生



学群企画を聞き入る会員



食産業



事業構想



看護

教員や学生と歓談

写真撮影 写真サークルFLASH

2024MYUサポーターズデイを記録した動画の配信URLは同封書類をご覧ください。

記事一覧

- 2面 ● 会長あいさつ／役員紹介／25周年記念事業
- 3面 ● 学生・大学支援事業／令和5年度事業報告と決算／令和6年度事業計画と予算
- 4面 ● 入学式／入学者数／新入生交流事業「春」

- 5面 ● シリーズ コラム／絆
- 6面 ● 学びの場
- 7面 ● 卒業式／学生表彰／卒業生の進路
- 8面 ● 教員からの一言／終身会員の集い／お知らせ／お問合せ先

学生が充実した大学生活を送れるように支えたい

会長 高橋 かおり



会員の皆様におかれましては日頃より後援会活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

4月14日、宮城大学後援会総会が大和キャンパスにて行われ、議案は全て原案通り承認されました。今年度も総会終了後に「キャンパスツアー」が行われ、大階段脇の水時計の涼しげな水の音に触れ、スキルス・ラボやデザイン棟等を見学していただきました。

宮城大学後援会は、学生活動の支援・大学の発展に寄与することを目的に、宮城大学が開学した二年後の平成10年に設立され、昨年25周年を迎えました。25周年記念冊子の作成のほか、記念事業として学生移動用バスの購入支援、バスには学生からデザインを募集し選ばれたデザインを先生方にご指導いただき、素晴らしいバスラッピングが施されました。

学生は、コロナ禍で制限されていた活動も徐々に再開し、活発さを取り戻しつつあります。後援会では「学生・大学支援事業検討委員会」を設け、メンバーを中心に大学と連携を図りながら支援を行っております。

行っております。

例えば、大和キャンパスにはカフェテリア前（池前広場）に設置するガーデンテール・ガーデンチェアのリニューアル及びパラボラの新規設置、本部棟3Fコールドヤード（中庭）の美化・くつろぎの空間創出として人工芝張りの支援、洋式トイレに荷物置代和式にフック設置。太白キャンパスには、学生共用キッチン（リニューアル）（システムキッチン式・調理器具式）、サークル棟の和室の畳張替え。両キャンパスへのウォーターサーバーの設置。また、年に数回「学食メニュー全品半額DAY」も行っております。

後援会は会員の皆様から入学時にお預かりした後援会費を原資として、学生が充実した大学生活を送れるよう、学生会・サークル活動・大学祭への助成、就職対策支援、入学卒業記念品の配布、資格取得状況に応じた奨励金の支給などを行っております。また、会員の皆様向けには、学内を紹介するサポーターズデイや、著名人による講演会を企画運営しております。講演会は地域の皆様へも働きかけ大学の知名度向上に努め、

大学の存在価値を高めていくことを目的としております。今年度は11月24日に「立川志らく」さんをお呼びする予定で準備を進めております。

今後も大学と連携を図り、学生の意見を聞きながらきめ細やかな支援を行っていきたいと考えております。会員の皆様には引き続き後援会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



— 25周年記念事業 —

学生移動用バスにラッピング完成

令和5年度に後援会25周年記念事業として購入費用の一部を支援した学生移動用バスに学生がデザインした模様が施されました。6月のMYUサポーターズデイのキャンパスツアーに参加された皆さんには実車をご覧いただき、デザインが採用された山崎さんには、MYUサポーターズデイ（太白キャンパス）の日に「賞」を贈呈しました。

デザインの応募～完成

令和5年度の秋からデザインの募集を開始。15名から16作品の応募があり、後援会理事会の投票、大学関係者を交えての選考を経てデザインが決定されました。

デザインが採用された、事業構想学群価値創造デザイン学類4年 山崎実莉さん（令和5年度卒業生）は、教員のアドバイスを受け試行錯誤しながら色の濃淡、大きさ、向きなど、デザインをチューニングしデザインを完成させました。

デザインコンセプト

跳ねたりひっかかったりしながら進む私達。色々な大きさのこの形が飛び回っている空間の中から、一場面を切り取ったイメージ。宮城大学の校章の形を使用し、色は校章と同じ。線と大きさの変化によってさまざまな人がいることを表している。



令和2年度に世界的規模で新型コロナウイルス感染症が拡大し、学生たちの課外活動も制限されました。そのため本会の学生活動支援も著しく少なくなり、支出できなかった活動費を特別会計に積み立ててきました。

令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、大学での学生生活や課外活動もコロナ前に戻りつつある中「学生や大学のより良い学修環境整備や活動に対して活用してもらいたい」と、この事業を立ち上げ、大学と支援内容を調整してきました。そして、これまでに以下の支援を行いましたのでご報告します。

◆学食メニュー全品半額DAY(大和・太白)

「学生の経済的負担の軽減、学食の賑わい復活、定食やメニューでバランスのよい食事をしてほしい」そう願って、令和5年12月と令和6年5月にそれぞれ4日間開催



◆常温水、冷水、温水が選べるウォーターサーバ(大和・太白)

食堂のサービスウォーター用としてレンタル学生の経済的負担の軽減とプラスチックボトルの削減を期待(2024)



◆池前カフェテリアのガーデンテーブルリニューアル(大和)

経年劣化により傷んだテーブル、チェアを入れ替えバラソルも設置して日差しを遮りながらカフェ風なスペースにリニューアル(2024)



◆中庭に人工芝生を敷く(大和)

学生のくつろぎの空間としてよみがえった中庭お弁当を持ち寄って食べればピクニック気分も味わえる(施工費用の一部を支援)



◆洋式トイレに荷物置き台設置(大和)

学生の荷物は重い。特に女性は高い位置にあるフックに荷物をかけることが容易ではなかったちょっとした改善で負担が軽減できた



◆サークル棟和室の畳表替え(太白)

経年劣化により傷んでいた畳表を新しい畳表のにおいがする緑色の畳の上では茶道サークルの活動が再開



◆学生共用キッチンのリニューアル(太白)

学生団体や研究室のメンバー同士の交流や「食」に関するサークルの探求の場として利用しやすい環境にリニューアル遅くまで残る学生が食事をとったり、談話室としても活用(2024)



＝ご報告＝ 令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算、会則改定は、令和6年4月14日の総会で可決されました。

一般会計

収入					単位：円	
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額		
会費	18,200,000	17,880,000	会員・終身会員	18,100,000		
繰越金	7,523,581	7,523,581		4,863,101		
合計	25,723,581	25,403,581		22,963,101		
支出						
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額		
事務費	2,920,000	2,817,843	人件費、通信費等	2,850,000		
会議費	550,000	480,839	費用弁償費用等	550,000		
事業費	14,036,000	10,593,248	学生会活動助成、資格取得などの奨励金支給と進路対策支援費用、主催事業開催と会報誌発行費用など	13,256,000		
入学記念事業費	450,000	423,550	校章ピンバッジ購入費用(4ページ)	450,000		
卒業記念積立金	2,250,000	2,225,000	特別会計へ	2,250,000		
記念事業等積立金	2,000,000	2,000,000	特別会計へ	1,500,000		
目的積立R4	2,000,000	2,000,000	特別会計へ	1,000,000		
予備費	1,517,581	0		1,107,101		
合計	25,723,581	20,540,480		22,963,101		

特別会計

◆卒業記念事業積立金◆				
収入				
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額
積立金	2,250,000	2,225,000	一般会計より入学生445人×5,000円	2,250,000
繰越金	8,568,064	8,568,064		8,625,005
合計	10,818,064	10,793,064		10,875,005
支出				
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額
事業費	2,250,000	2,168,059	卒業記念品購入費用など(7ページ)	2,250,000
卒業記念事業積立金	8,568,064	8,625,005		8,625,005
合計	10,818,064	10,793,064		10,875,005
◆記念事業等積立金◆				
収入				
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額
積立金	4,000,000	4,000,000	一般会計より(目的積立含む)	2,500,000
繰越金	25,482,646	25,482,646		12,345,127
合計	29,482,646	29,482,646		14,845,127
支出				
項目	R5年度予算額	決算額	備考	R6年度予算額
事業費1	16,500,000	14,195,920	25周年記念事業費用(2ページ)学生移動用バス購入費用と会報誌25周年記念ページ費用	2,304,080
事業費2	11,000,000	2,941,599	学生・大学支援事業費用(3ページ)	9,058,401
事務費	100,000	0		100,000
記念事業等積立金	1,882,646	12,345,127		3,382,646
合計	29,482,646	29,482,646		14,845,127

令和5年度事業報告

会議	総会、理事会(6)、正副会長会議(6)、各種検討委員会(7)、学生との意見交換会(1)()内は開催回数
支援事業	3団体と9サークルに運営費や活動費を助成資格を取得した14名とスポーツで優秀な成績をあげた1名に奨励・報奨金を支給看護国家試験対策や自己分析・適職発見プログラム、業界研究セミナーなどの進路対策事業を支援学生生活のアメニティの向上と食に支援
記念事業	入学記念品、卒業記念品の贈呈、25周年記念事業実施
主催事業	MYUサポーターズデー、門田隆博氏講演会を開催
会報発行	61号と62号

令和6年度事業計画

会議	総会、理事会、各種検討委員会、学生との意見交換会など
支援事業	学生会活動などへの助成、資格取得奨励金支給、進路対策事業支援など
記念事業	入学記念品、卒業記念品など
主催事業	MYUサポーターズデー、講演会、終身会員の集い
会報発行	63号と64号

会則の改定

第6条に「監事の就任は5回を限度とする。」を新たに設けました。



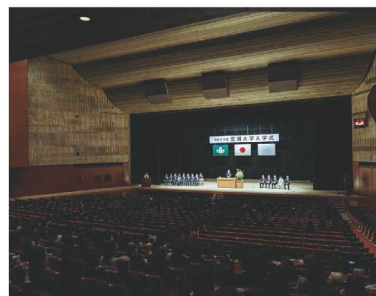
令和6年度入学式

令和6年4月3日（水）午前、東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）において、入学式が挙行されました。同ホールでの入学式は平成31（令和元）年度以来、コロナ禍の期間をはさんで5年ぶり、ご家族の皆様も入場制限なく一堂のもとに集いました。インターネットでも同時配信されました。

今年度の入学者数は、学群生447名（看護96、事業構想214、食産業137）、大学院生37名の合計484名です。

佐々木啓一学長は、式辞の後半で新入生に語りかけました。与えられる知識の単なる習得ではなく、好奇心を持って自らが学ぶ対象を決めていく姿勢が大事なこと。待っているだけでは何も起こらないこと。自身のやりたいことに積極的に手を挙げ、学問領域の枠を超えた実践的な「総合知」を探究して、先行きの予測できない不確実性（VUCA）の時代に、迅速かつ臨機応変な意思決定のできる人材に成長されることを期待しますと。

式終了後、新入生とご家族が、街中で思い思いの外出をし、午後からも同ホールでの学生表彰式と全学オリエンテーションに臨んで、15時30分に入学式後1日目のスケジュールを終了しました。



令和6年度 入学記念事業

大学のシンボルマークを模った校章バッジを新入生へ贈りました



令和6年度入学 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学 群	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細				
				性 別		出身校		
				男	女	県内	県外	その他
看 護	95	3.1	96	1	95	66	30	0
事 業 構 想	200	2.2	214	83	131	140	74	0
食 産 業	125	2.0	137	46	91	63	74	0
合 計	420	2.3	447	130	317	269	178	0

※出身校は、卒業高校等所在地で分類（外国人留学生はその他に分類）

令和6年度入学 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

研 究 科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細	
				性 別	
				男	女
看護学研究科博士前期課程	10	1.0	7	0	7
看護学研究科博士後期課程	3	1.0	1	0	1
事業構想学研究科博士前期課程	20	1.1	15	10	5
事業構想学研究科博士後期課程	3	1.0	3	2	1
食産業学研究科博士前期課程	13	1.1	9	2	7
食産業学研究科博士後期課程	3	1.0	2	2	0
合 計	52	1.1	37	16	21

新入生交流事業「コンボケーションデイ」春

「見えない」体験からコミュニケーションの大切さを学ぶ

令和6年4月19日（金）、宮城大学大和キャンパスを会場に春のコンボケーションデイを実施しました。

コンボケーションデイとは、2つのキャンパス、異なる3学群に所属する新入生が交流し、「他者理解」を深めるための企画となっており、春と秋に大和、太白それぞれのキャンパスで開催されます。

今年度は、仙台を拠点に活動するクラブチーム「コルジャ仙台」をはじめ、全国から集まったブラインドサッカー関係者の方々の全面的な協力により、パラスポーツであるブラインドサッカーをテーマとしたプログラムを体験しました。

コンテンツⅠ：プロ選手の実技披露とボールを使ったレクリエーション

コンテンツⅡ：アイマスクを着用し、耳から入る情報だけを頼りに仲間を探すレクリエーション

コンテンツⅢ：アイマスクと白杖を使用した歩行訓練

コンテンツⅣ：ブラインドサッカー選手によるレクチャ

これら4つのコンテンツを通して、学生たちは、見えないことによる怖さを体験することで、視覚障がいのある方への理解、また、ブラインドサッカーというパラスポーツについての理解を深める機会となりました。

学生同士が普段とは違う状況の中で、協力してレクリエーションに取り組むことで、コミュニケーションの大切さを実感し、学群を超えた交流を行うことができました。

コンボケーションデイに参加した学生からの学びや感想の記述では、「視覚障がいを持つ方を街中で見かけることがあってもなかなかその人の立場に立って物事を考えたことがなかった。今回の経験でどれだけ大変なのかを身に染みて感じた。」「街中で困っている人に会ったら積極的に手助けしていきたい。」「他学群の学生と友達になることができた。」「といった回答が寄せられ、多くの学生がこのコンボケーションデイを通して「他者理解」を深めることができた振り返っていました。



コンテンツⅠ



コンテンツⅡ



コンテンツⅢ



コンテンツⅣ

命のあるもの、いつかは別れのときが来る

看護学群在宅看護学領域 教授 花里 陽子

「おつかれさまでした」生から死の瞬間を見届けた家族から自然とでてくる言葉です。最期の時を共に過ごす家族は、よく思い出話をする。「よく頑張ったね」と語り掛け、労い、共に泣き、笑ったりしながらこれまでのエピソードを語る姿。穏やかな最期は残される家族の心の癒しになる。別れの時、家族が安心して看取ることができるよう支援するのが看護師の役目。家族が「一緒にこんなことができて良かった」と思えることは大切だ。無事に見送ることができた家族の安堵の表情や「ありがとう」という言葉は、看護師として出会えたことに感謝の気持ちや、やりがいを感じる瞬間でもある。人は、人生を生きるうえで、たくさんの悲しみに出会う。死は終わりではなく、灯火のような大切な存在として残された者の心の中で生き、生きる糧になっていると感じる。そんな時、ふと「いつも何度でも」の歌詞が浮かぶ。

沢山の方々の最期を支援してきたつもりであったが、自分の家族になると周章狼狽した。父が亡くなり五年が過ぎ、母も漸くひとりの生活が日常となり、墓前で父に語り掛ける言葉にも変化がみられるようになった。最初の二年間は、「何で逝ってしまったの、死んじゃったの」を繰り返すので心配

した。その後は「お父さん、もう少し頑張るからまだお迎えに来ないでね」となり、少し安心した。この処は、最期を何処でどう過ごしたいかなど、よく話しをする。私が言っていたことを覚えていたのか、かかりつけ医にも自分の希望を伝えたようだ。医師から「まだ大丈夫そうだね、なかなか逝けないね」と言われ、笑いが増えた。そんなやりとりができる医療従事者が身近にいることは、大切なことだと感じている。

看取りを地域の中で、そして、最期まで尊厳をもって逝ける社会となることを願い、これからも教育と研究に取り組みたいと思います。



はなざと ようこ
花里 陽子

1993年～大学病院、ホスピス、訪問看護で看護を实践
2011年～在宅看護学の教育に携わる

絆

No.32

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。
今回は事業構想学群3年市川真愛さんです。令和5年の夏から北欧に留学。留学を検討している学生のご家族に参考になればとメッセージをいただきました。

留学ってどんな感じ？～北欧留学体験談～

事業構想学群事業プランニング学類3年 市川 真愛

私は2023年8月から2024年5月までフィンランドのトゥルク応用科学大学に10か月間留学しました。大学1年生の頃は英語や海外に興味は全くありませんでしたが、就職活動で生かせるように始めた英語の試験勉強をきっかけに座学だけでなく実際に海外の人と英語で会話してみたいと思い、留学を決意しました。

留学では語学学習だけでなくその国の文化・伝統を体験し、様々な国の友人と交流するなど以前とは全く異なる日常生活を送りました。フィンランドの慣習に従ってサウナの後に湖に飛び込んだり、オーロラを見に行ったり、極夜・白夜のなかで生活したりと、日本ではできない体験をしたときに留学に来てよかったと強く実感しました。

また、留学先大学での授業も語学力と専門スキルの向上に大きく役立ちました。授業は日本とは異なりグループワークやプレゼンテーションが中心です。はじめは英語が不自由ななかで意見を主張することに苦労しました。しかし、何もしないよりもとにかく話に参加しようと思い、言いやすい英単語を使いながら徐々に発言を増やしました。自分の意見がグループで採用されたときはとても嬉しかったです。

私の場合、留学生活では辛いことも多く経験し、特に言語において最も苦労しました。私が留学したヨーロッパ圏ではほとんどの学生が第二言語である英語を流暢に話します。周りのように上手く話せない自身

の未熟さに落ち込むことも多かったです。

せっかく留学に来ているのに成長できていないことが悔しく、また申し訳ないと感じていました。そんな中、日本にいる家族や友人からの励ましが力になりました。私自身の代わりに頑張りを肯定してくれる存在はとても有難かったです。留学前・留学中の周りのサポートが学びの原動力となり、学生時代を大きく変えてくれました。私の選択を応援してくれた両親には感謝を伝えたいです。本当にありがとうございます。

この体験談が留学を考えている学生・ご両親の方にとって少しでも参考になることを願っています。



第1回 MYUアイデアコンテスト

「でるコン2024」を開催



宮城大学で初となるビジネスプランコンテストの開催です。「でるコン2024」という名称は、外に出てみよう、出る杭になって打たれてみよう、打たれてもまた出てみようなど、さまざまな意味を「でる」に込め、学生へのメッセージにもなっているものです。

宮城大学は、地域社会の発展と社会のイノベーションにとって重要な3つの領域、すなわち事業構想、食産業、看護

における課題と密接に関係した研究と社会との共創を推進し、これら実学に基づいて、変革する社会を生き抜き、次代を拓く人材を育成することを使命としています。この使命を、宮城大学から巣立つ人材が具有するコンピテンシー（できること・能力）という観点から見ると、それぞれの専門性に立脚し、地域あるいは企業などの事業体での課題を的確に見出し、その解決策を探索し、実行することができ、ということを追っていることとなります。まさに、失われた30年からの復活を目指す、今の日本社会で求められている力、

が宮城大学での学びにより涵養されます。

地域フィールドワークや具体的な社会課題に基づくという課題解決型授業により、本学の学生は上記の能力を身に付けていきます。これら能力は、高度な汎用力とも呼べますし、また巷で話題のアントレプレナーシップにも通じます。実際に本学学生の就職先からは、これらの能力が評価されていますし、また自身で起業している卒業生も多数います。宮城大学の大きな特徴となっています。しかし在学中に学生がこれら特徴にはなかなか気づかず、自己肯定感の向上に繋がってはいません。すでに数多くのビジネスプランコンテストが、スタートアップ企業の創出を目指して、いろいろな大学や自治体などにより実施されています。ごくわずかですが、本学学生もこれらに参加していますが、多くの学生には縁遠いものです。

そこで今回の「でるコン」は、本学学生の持つポテンシャルを学生自身に認識してもらうことと、そのポテンシャルを伸ばしていくことを目的として、学生に広く呼びかけをし、実施するものです。ハードルがあまり高くないように、部門名も本格的なスタートアップを目指すものは「さりと部門」、一方でまだアイデア段階のものは「ふわっと部門」と名付けています。またオープンイベントでもスタートアップですでに実績のある本学OB・OGの方々から、学生への応援メッセージをいただきました。

世の中を変えるアイデアが宮城大学から生まれるかもしれません。後援会の皆様もぜひ御期待ください。

(学長 佐々木啓二)

コンテスト事務局 学生支援課



募集開始と同時に太白キャンパスで開催されたオープニングイベントには、本学各学部を卒業した起業家を招いてトークイベントを開催。創造性と独創性を発揮する場に学生はどんな事業のアイデアを創りあげてくるのか？10月の審査が楽しみです。

令和5年度 宮城大学卒業証書・学位記授与式

令和6年3月19日、令和5年度宮城大学卒業証書・学位記授与式が大和キャンパス講堂にて開催されました。今年は全学群・学部及び研究科が一室に会しての開催となりました。式典の様子は、インターネットで同時配信され、またAR（拡張現実）卒業記念看板やフォトフレームも活用されました。

学群の卒業生425名を含む、455名が卒業・修了・学位授与を迎えました。式辞において、佐々木啓一学長より「今後社会で生きていくうえで、求められる能力は『総合知』と『実践力』。『皆さんは『幅広い知識に立脚した課題探究と課題解決を実践できる』、『いろいろな専門知識を自ら学修できる』というコンピテンシーを獲得しています。『皆さんは、時代に求められる、これらのコンピテンシーを身に付けているのです。自信を持って社会に羽ばたいてください。』とエールが送られました。また、「皆さんは、今までも、そしてこれからも、この宮城大学コミュニティのメンバーです。」「宮城大学コミュニティの一員として、母校とともに社会の発展に向けて貢献していただけだと思います。」と期待が寄せられました。



令和5年度学生表彰

在学中に研究活動、課外活動、社会活動、学業に顕著な成果をおさめた学生が表彰されました。（学年は令和5年度で掲載）

学長賞

―課外活動において、顕著な成果をあげたもの―

- 宮城大のサラダボウル
石山 望愛、小川 大和、川股 彩乃、鈴木 晴也、田名部 真歩、三村 詩生里、八木沼 花音、渡邊 佑（事業構想学群 4年）
第60回宣伝会議賞・学生チーム対抗企画において優勝

学長奨励賞

―研究活動において、顕著な成果をあげたもの―

- 東 沙耶（看護学群 4年）
「高カリウム血症の心電図変化と急性期治療薬の効果」を明らかに
- 動物遺伝育種学研究室
呂 官霖（食産業学研究科博士前期 2年）
佐々木 優夏、須藤 駿、照井 杏捺、黒田 怜花、早見 紗華（食産業学群 4年）
学群「仙台・宮城」サイエンス・デイ2023において「東北経済産業局長賞」、「〇〇の秘密がわかったで賞」、「わかりやすくてよかったで賞」の3つの賞を受賞
- 中村 恵太（食産業学研究科博士前期 2年）
細胞骨格研究会-Plant Cytoskeleton 2023において最優秀学生発表賞を受賞したほか東北植物学会第13回大会において優秀発表賞（口頭発表の部）を受賞
- 矢崎 湧紀（食産業学研究科博士後期 3年）
「第20回日本機能性食品医学会」において優秀賞（優秀演題賞）を受賞

―社会活動において、顕著な成果をあげたもの―

- 橋本 香里（事業構想学群 2年）
2023せんだい、社の都親善大使への就任
- みやぎ食の応援団
山本 莉子、氏家 琉太、遠藤 春香、齋藤 勇介、渋谷 季実、須藤 駿、千葉 明莉、千葉 未来、増井 愛未、山本 颯杜（食産業学群 4年）
杉浦 妃雅、瀬谷 美瑛、曾根 咲桜（食産業学群 3年）
「巨理のリンゴ農家応援プロジェクト」によるリンゴジュースのラベル作成及び販売ルートの拡充

―その他の活動において、顕著な成果をあげたもの―

- 石川研究室
鎌田 那央子、狐野 大誠（食産業学研究科博士前期 2年）
阿部 まりあ、大槻 葉月、鈴木 杏奈、花輪 優斗（食産業学群 4年）
エスピー食品株式会社と協力した商品開発及び販売
- おもちサークル
曾根 咲桜、小林 伽乃、高畑 葵、瀬谷 美瑛、高橋 実桜里、中島 萌々香、石岡 玲（食産業学群 3年）
お茶の井ヶ田株式会社と共同したレシピ開発及び販売
- 「みやぎのせり」ブランド化を考える会
石岡 玲、遠藤 愛子、大井 実怜、岡村 萌夏、齋藤 真里奈（食産業学群 3年）
宮城県食産業振興課との連携による「みやぎのせり」ブランド力向上のためのPRパンフレット作成

成績優秀者表彰

―学業において、特に顕著な成績を修めたもの―

- 内田 乙寧（看護学群 4年）
- 平川 航佐（事業プランニング学群 4年）
- 和泉 汰汰（地域創生学群 4年）
- 柴田 雅敏（価値創造デザイン学群 4年）
- 久保 翼（食資源開発学群 4年）
- 天間 未莉（フードマネジメント学群 4年）

令和5年度 卒業記念事業

卒業生へ記念品（浸透印）を贈呈いたしました。



冷蔵庫1台（太白）

快適な学生生活環境の充実に想い、卒業生からベンチと冷蔵庫が大学へ寄贈されました。後援会はその費用を支援しています。



ベンチ3脚（太和）

令和5年度 卒業生の進路（主な進路実績）

看護学群

看護学類

●就職先一例（順不同）

〔看護師〕

東北大学病院、東北医科薬科大学病院、大崎市民病院、仙台市立病院、JCHO仙台病院、東北労災病院、仙台西多賀病院、宮城県立こども病院、宮城県立精神医療センター、宮城県立がんセンター、坂総合病院、東北公済病院、仙台厚生病院、仙台徳洲会病院、松田病院、みやぎ県南中核病院、自治医科大学附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、国立がん研究センター東病院、国立国際医療研究センター病院、東京都立小児総合医療センター、新潟県立新発田病院、山形県立中央病院、戸田市立市民病院、横浜市立市民病院、横浜市立みなと赤十字病院

〔保健師〕

仙台市、気仙沼市、多賀城市、富谷市、登米市、名取市、大郷町、大河原町、丸森町、三戸町

〔養護教諭〕

仙台市教育委員会、宮城教育大学附属学校園、福島県教育委員会

●進学先一例（順不同）

仙台医療センター附属仙台看護助産学校、福島県立医科大学別科助産学専攻、医療法人社団スズキ病院附属助産学校、昭和大学助産学専攻科

事業構想学群

事業プランニング学類

●就職先一例（順不同）

㈱ドコモCS東北、㈱日立ソリューションズ東日本、㈱東日本放送、㈱ジャステック、イオンビッグ㈱、㈱ヨークベニマル、DCMホールディングス㈱、トヨタ自動車東日本㈱、アイリスオーヤマ㈱、㈱カネナイ、沖電気工業㈱、スズキ㈱、太平電業㈱、大林道路㈱、日本道路㈱、㈱NTTネクシア、日本年金機構、㈱七十七銀行、東北労働金庫、㈱東北銀行、あいおいニッセイ同和損害保険㈱、㈱東北情報堂、㈱バルディア、宮城県、仙台国税局、学校法人東北工業大学、学校法人赤門学院、日通NECロジスティクス㈱、東北電力㈱

●進学先一例

宮城大学大学院事業構想学研究科

地域創生学類

●就職先一例（順不同）

宮城トヨタ自動車㈱、㈱東北日立、㈱バイタルネット、イオンリテール㈱、㈱エコプラス、㈱ヨドバシカメラ、㈱ヤマダホールディングス、㈱日立ソリューションズ東日本、東北インテリジェント通信㈱、㈱クロスリード、㈱ドコモCS、㈱ユアテック、㈱TTK、高砂熱学工業㈱、旭化成リフォーム㈱、宮城県、塩竈市、大和町、福島県、㈱山形銀行、三菱UFJ信託銀行㈱、東京海上日動火災保険㈱、公益財団法人東北活性化研究センター、㈱マクロミル、仙台農業協同組合、野村不動産パートナーズ㈱、松島国際観光㈱、東日本旅客鉄道㈱、㈱山本製作所、ベスト学院㈱、㈱JTB、日鉄鉱業㈱、宮城十條林産㈱

●進学先一例

宮城大学大学院事業構想学研究科

価値創造デザイン学類

●就職先一例（順不同）

大和ハウス工業㈱、㈱オノヤ、住友林業ホームテック㈱、積水ハウス㈱、大和リース㈱、㈱北洲、㈱サンフカンパニー、クラシタス㈱、㈱NTTデータ東北、㈱日立ソリューションズ東日本、東社シーテック㈱、NECネクサソリューションズ㈱、㈱大塚商会、㈱サーパワークス、ヤマセ電気㈱、アルプスアルパイン㈱、㈱オカムラ、YKK AP㈱、㈱プレッヅァー・アーキテクト、㈱オオバ、㈱博展、大東建託リビング㈱、㈱仙台銘板、仙台市、名取沼農業協同組合、仙台ターミナルビル㈱、東北電力㈱

●進学先一例（順不同）

宮城大学大学院事業構想学研究科、長岡造形大学大学院イノベーションデザイン領域

食産業学群

食資源開発学類

●就職先一例（順不同）

アイリスオーヤマ㈱、㈱阿部蒲鉾店、伊藤ハム米久ブランド㈱、キュービー㈱、JA全農北日本くみあい飼料㈱、ゼライス㈱、太子食品工業㈱、㈱東北フジパン、宮城県、栃木県、岩沼市、栗原市、登米市、柴田町、加藤産業㈱、仙都魚類㈱、㈱日本アクセス、東日本フード㈱、渡辺バイパス㈱、全国農業協同組合連合会宮城県本部、仙台農業協同組合、みやぎ生活協同組合、㈱アスパーク、㈱DRIVE LINE、富士フィルムロジスティクス㈱、社会福祉法人無量壽会、㈱東京海上日動パートナーズ東北、㈱一条工務店宮城、㈱NTTデータフィナンシャルテクノロジー

●進学先一例

宮城大学大学院食産業学研究科

フードマネジメント学類

●就職先一例（順不同）

赤城乳業㈱、イズミ食品㈱、キリンホールディングス㈱、㈱高研、太子食品工業㈱、日東ベスト㈱、日本食研ホールディングス㈱、マルハニチロ㈱、山崎製パン㈱、加藤産業㈱、㈱キャメル珈琲、㈱高速、国分東北㈱、㈱大丸松坂屋百貨店、㈱日本アクセス、東日本フード㈱、㈱良品計画、㈱全農ビジネスサポート、㈱フーディン、福島県農業協同組合中央会、㈱メディカル・プリンシプル社、全国農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会福島県本部、㈱物語コーポレーション、㈱丸西、青森県、大洋エアーランドエフ㈱、石巻商工信用組合、㈱ロジスティクス・ネットワーク、㈱NEXYZ、㈱テイクアンドグヴ・ニーズ

●進学先一例（順不同）

宮城大学大学院食産業学研究科、東北大学大学院医学系研究科、東北大学大学院農学研究科

教員からの一言

小さな習慣から未来を創る

事業構想学群教授 太田 賢

運動やダイエット、勉強など続けたいことはありますか?目標達成や自己実現には目標とする行動を続けることが大切です。一方で、現代社会は不健康な食事や睡眠不足、運動不足、ストレスなど不健全な習慣に陥りやすい環境です。デューク大学の研究によると、私たちの日々の行動の43%は、ほぼ毎日同じ場所で繰り返し行われる「習慣」とのことです。習慣を上手に変えることができれば、生活の質やパフォーマンスは大きく向上します。

私は宮城大学に2023年に着任し、「一人ひとりに寄り添う習慣化デザイン」をビジョンとして、デジタル技術やデータを活用して人の行動を変える仕組みを研究しています。具体的には、スマートフォンアプリやAIを用いて、個人の生活スタイルに合わせた行動プラン作りをサポートしたり、習慣化の進捗を測定したり、応援やフィードバックでモチベーションを維持します。習慣化デザインラボ (<https://habitdesign.notion.site/>) では、習慣化の知識やアプリ活用などを発信していますので、興味のある方はぜひご覧ください。

昨年、学生や社会人を対象に「やりたい習慣」と「やめたい習慣」についてのアンケートを実施しました。学生たちは、平均して5.1個の「やりたい習慣」を持っており、その中でよい睡眠、お金の管理、運動・スポーツ、勉強が人気でした。しかし、挫折した習慣の数も平均3.9個と多いことがわかっています。一方、「やめたい習慣」は平均4.0個であり、先延ばし、夜更かし、SNSの見過ぎが多くの学生に共通する課題でした。ちなみに先延ばしは社会人にとってもやめたい習慣の1位でした。

これらのデータは、学生たちが自己実現や自己改善に高い意欲を持っていること、そして実際に行動を続けていくにはサポートが必要であることを示しています。学生たちが未来ある自立した生活を送るためには、日々の小さな習慣が重要な役割を果たします。地域のサポートも含め、今後も学生一人ひとりが持つ可能性を最大限に引き出すための研究と教育活動に努めていきたいと思っています。



携帯電話とスマホを研究して26年

習慣化
デザインラボ

お問い合わせ先

	大和キャンパス (看護・事業構想)	太白キャンパス (食産業)
教務関係[カリキュラム・シラバス等]	kyoumu@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
学生生活関係	gakusei@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
キャリア開発室[就職関係]	careerdev@myu.ac.jp	f-career@myu.ac.jp
後援会事務局	myu_kouenkai@myu.ac.jp	

お問い合わせの際は、ご子女の「お名前」「所属学群」「学籍番号」もあわせてお知らせください。

編集後記



ダンスサークルが昼休みに踊っていたり、ライブ感あふれる学生の演奏が聴けたり、大学祭に向けて準備したりと賑やかで、学生生活は充実しているのだろうと思う瞬間が何度も感じられた前期です。

過去の会報誌はこちらから <https://www.myu.ac.jp/campus/support/> ご覧になれます。

令和6年度MYU
キャンパスカレンダー

令和6年

4月

3日(水) 入学式
8日(月) 前期授業開始
14日(日) 後援会総会
19日(金) 新入生コンボケーションデイ(春)

5月

1日(水) 開学記念日

6月

16日(日) 後援会主催事業 MYUサポーターズデイ(大和)
29日(土) 後援会主催事業 MYUサポーターズデイ(太白)

7月

21日(日) オープンキャンパス(太白)
28日(日) オープンキャンパス(大和)

8月

6日(火) 学生夏季休業(大和~9/23、太白~9/26)
13日(火) 教職員夏季休暇(~8/19)

9月

18日(水) 卒業証書・学位記授与式(9月卒業分)
24日(火) 後期授業開始(大和)
27日(金) 後期授業開始(太白)

10月

3日(金) 新入生コンボケーションデイ(秋)
13日(日) 大和キャンパス大学祭 ~10/14

11月

3日(日) 太白キャンパス大学祭 ~11/4
24日(日) 後援会主催事業 立川志らく公演会

12月

26日(木) 学生冬季休業(~1/5)
29日(土) 教職員冬季休業(~1/3)

令和7年

1月

30日(木) 学生春季休業(大和~4/7)

2月

3日(月) 学生春季休業(太白~4/7)

3月

19日(水) 卒業式・学位記授与式

皆様の来場をお待ちして
おります!
大学祭実行委員会

会員、大学、地域への文化的
貢献を目的に開催します
申込方法は同封のチラシを
ご覧ください

宮城大学後援会「第4回終身会員の集い」開催される

令和6年7月20日(土)、「終身会員の集い」が仙台市内で開催されました。

子女の卒業後も会員を継続し、大学や後援会を支えてくださっている終身会員の方々が集まるのは2年ぶりとなりました。

前半は盛岡在住のアルパニスタ絵美夏さんをゲストに招き、アルパの音色と澄んだ声の中にも力強い歌声に魅了され、後半は来賓として足を運んでくださった佐野理事長や佐々木学長、高橋後援会長と共に子女のこと、ご自身のこと、後援会のことなどに会話は弾みました。

子女の卒業年度も異なる方々の集まりですが、大学への熱い期待は皆さん一緒であると感じられた時間でした。(事務局)



お知らせ

大学ではSNSでも情報を
発信してます
フォロー・いいね
お願いします!



Instagram



X(Twitter)



YouTube

